

## ここにおいて、ここは宝庫。



3つのエレメントを磨きあげること  
でシステムが完成した。SYSTEM III

®SYSTEM III® およそトレモロユニットらしからぬ  
名だ。もっとメカっぽく、唸るよ  
うな響きをネー

ミングしてもよか  
ったが、私たちはOK

### ボディのトップに機能を集中した

SYSTEMの1はフローティングの状態を自由自在に可変できる機構だ。ユニットは高剛性に優れた2本のスプリングによって引っぱられている。そしてスプリングはエンドピン下からフロントPU付近にまで内蔵されているロッド棒にその一端が固定されていて、ロッド棒上を移動することができる。エンドピン側のロッド棒はアレンナットになっていて、レンチで回転させることで、スプリングを固定したプレートが滑るように移動して

用の長物である。そこで、このアームをロックする方法を考えた。アームを下におろす(時計方向に4分の1回転させる)とユニット全体がロックされる。ストップテールピースと同じ機構に変身するのだ。ハードアクションや、何かの拍子にアームに触れて泣きを見ることなどない仕掛だ。



カム&ナットロック機構

### 弦をロックすることで、緊張感が生じる。

SYSTEMの3はヘッド部分のstringロック機構だ。弦はメタルナットの上を通過し、このstringロックの間を通り弦巻にゆく。stringロックは1弦側にあるレバーでワンタッチロックする。ワンタッチロックによってstringロックが締め弦をバンドしてもチューニングが狂わないのだ。また、stringロックの6弦側には弦の太さに合わせてstringガイドの間隔を調整するネジがある。ギタリストのゲージに合わせて、ロックすることができる。全ギタリスト対応型である。

を一気に向上させた。●TREMLO UNIT: PF-555のトレモロユニットにはBOXERシリーズのラインアップに搭載されているスーパービブラートユニット「ブレードシューター」を採用。抜群のサステイン効果を引き出す。●PICKUP: PF-555、FB-555とも新開発(総てに新しいコンセプトによる)のピックアップによって他のラインアップにはない性格とテイストを実現している。両モデルともフェンダー初のバータイプのマグネットを採用し、L抵抗



を抑えたウェルバランスの高出力と駿敏なレスポンスを獲得。チョーキング時も弦がマグネットから